



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 164

令和元年(2019)
7月28日

主
な
内
容

6月定例会のあらまし	2
一般質問	2
各党派討論の内容	9
常任委員会の審査報告	11
議案の採決結果	12
政務活動費の支出内容	12
議長交際費の支出内容	13
委員会の視察報告	14
議会アドバイザーの紹介	16
市民と議会のわがまちトークを開催	16
9月定例会予定	16

●一般会計補正予算など 16議案を承認・可決

議会だよりはこのコード
からご覧いただけます。



夏

を彩る大輪の花火

(第43回みなと舞鶴ちゃったまつり花火大会より)

6月定例会のあらまし

●周産期医療の充実に向けた府立医大との共同研究、内水による浸水被害を軽減するための排水ポンプ車購入など、総額2億4,481万円の令和元年度一般会計補正予算を可決

令和元年舞鶴市議会6月定例会は、6月3日に開会。6月27日までの25日間開催し、市長から提案された、平成30年度一般会計補正予算、令和元年度一般会計補正予算、条例の一部改正などの16議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

令和元年 舞鶴市議会6月定例会一般質問

令和元年6月13日、14日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	伊田 悦子	1 広報まいづる5月号に掲載された市長寄稿のコラム「ドクターTのひとりごと」(その76)について	
2	2分割	伊藤 清美	1 広報まいづる5月号について	2 自主防災組織の防災訓練について
			3 ホストタウンとして東京五輪に向けた取り組みについて	
3	一括	杉島 久敏	1 自転車保険について	2 通学路の安全・防犯対策について
			3 「人生100年時代」を見据えた施策について	
4	一括	野瀬 貴則	1 介護保険サービスについて	2 空き家対策について
			3 舞鶴版 Society5.0 について	
5	一問一答	鴨田 秋津	1 本市のごみ処理について	
6	2分割	小西 洋一	1 災害復旧事業の促進について	2 学校教育の充実について
			3 市民のための図書館について	
7	一括	高橋 秀策	1 便利な田舎暮らしについて	2 教育について
			3 市職員の働き方改革について	4 喫煙について
8	一問一答	小谷 繁雄	1 ひきこもり対策について	2 マイキープラットフォーム構想について
9	一問一答	眞下 隆史	1 ごみの分別収集について	2 女性消防団員について
			3 引揚記念館事業について	4 学校における地域の役割について
10	一括	田村 優樹	1 交通安全対策について	2 医療的ケア児について
			3 「広報まいづる」について	
11	一問一答	小杉 悦子	1 個人情報を守る市の役割について	2 国民健康保険について
			3 消費税増税と市民への影響について	
12	一括	川口 孝文	1 ごみ収集の現状・課題等について	
13	一問一答	松田 弘幸	1 障害者福祉について	2 プラスチックごみについて
			3 地域水産物のブランディングについて	4 ドローンの活用について
14	一括	仲井 玲子	1 舞鶴に在住する日本語を母国語としない人々の生活支援について	2 ビジネス的手法による観光まちづくりについて
15	一括	西村 正之	1 かんぼの宿について	2 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船について
			3 敬老会について	
16	一問一答	肝付 隆治	1 民生児童委員の活動環境整備について	2 地域のつながりと新しい地域コミュニティの創造について
			3 市民憲章の制定について	
17	一括	田畑 篤子	1 まちづくり戦略について	2 国民健康保険滞納について
			3 医療的ケア児への支援について	
18	一問一答	山本治兵衛	1 高野川の浸水対策について	2 自治会の未加入世帯について
			3 スマート農業について	
19	一括	鯛 慶一	1 高齢者外出支援について	2 観光施設のトイレについて
			3 赤れんがパークについて	

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

質問 広報まいづる5月号の市長コラム。①「公約を実行するには、市長と議会の過半数以上の議席を有する議員団との合意できる内容でなければならぬ。」②「議会で他の議員団と合意できない少数議員団の公約は、全く実現不可能」③「公約を実現できる候補者を選んでいただきたい。」このように断定し、投票を誘導している。二元代表制の本旨、地方自治の原則を踏み外し少数意見を封殺するもの。どう考えているのか。

答弁 議論を尽くし、なお意見が分かれると

一般質問
少数でも市民の声は尊重されるべき



日本共産党議員団
伊田悦子

きは、多数決により決定するのは当たり前。市民や関係団体と対話を重ね、地域に足を運んだ際には、たとえ小さな声であっても、市にとって大切な意見があると気付かされることがある。少数意見を尊重しない姿勢であるという指摘は全くあたらない。

市民への謝罪・記事撤回を

質問 市民への謝罪・記事撤回を求める。

答弁 少数意見を排除する姿勢は全くなく謝罪・撤回の考えはない。



質問 自主防災組織が行う訓練支援について、段階的な訓練モデルを作成、効果的・効率的な訓練を実施する必要があると考えるが、本市の考え方を問う。

答弁 活動実績に応じた幾つかの訓練モデルを作成し、適切な訓練を実施していただくことで、地域防災力が向上するよう積極的に支援したい。

五輪聖火リレーの取り組み

質問 前回行われた聖火リレーに記憶のある世代は感動の再現と、初めての世代には夢と希望を与えるものと大きな期待が寄せられて

一般質問
主体的に行う防災訓練支援の在り方とは



創政クラブ議員団
伊藤清美

いる。また、世界に舞鶴市の魅力を発信する好機と考えるが、その取り組みについて問う。

答弁 来年に迫った聖火リレーのルートに選ばれたことは、大変喜ばしいことであり、今後、走行ルートや走者隊列、式典等、詳細については、各関係団体などと調整し、準備を進めていく。ウズベキスタン共和国のホストタウンとして東京五輪の機運を盛り上げるため、市を挙げて取り組んでいく。



前回の聖火リレー

質問 人生100年が一般化する社会では学び直しや転職、長期休暇の取得など人生の選択肢が多様化する。高齢者から若者まで全ての人が活躍できる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくること重要な課題となる。そこで①長寿化・高齢化に伴う社会モデルの変化に対する行政の在り方②健康保持増進の取り組み③シニア層向けの就労支援④生涯教育・リカレント教育について、本市の施策を問う。

一般質問
人生100年時代を見据えた本市の施策



公明党議員団
杉島久敏

答弁 ①運動機能の向上や創作活動の実施により、地域包括ケアの深化・推進に向けた取り組みを強化②健康増進計画を改訂し、今後の健康づくり施策を「子ども世代」「働き盛り世代」「高齢者世代」のライフステージに着目して進める③シニア向け企業説明会を開催する予定であり、意欲のある高齢者の就労・起業の促進を図る④離職者訓練や在職者のキャリアアップ訓練を実施、求職者などに対する情報提供の支援・取り組みを実施する。



令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

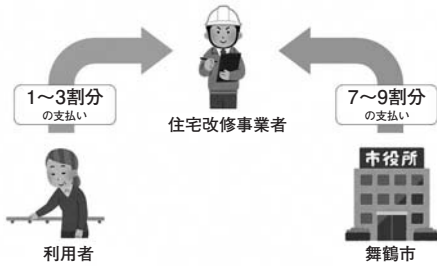
一般質問 介護での住宅改修費を 自己負担分のみに



新政クラブ議員団
野瀬 貴則

質問 要支援・要介護認定を受けた方が、自宅で安全に生活できるように、手すりの取り付けやトイレの改修に対して、介護保険サービスの利用により7〜9割の補助を受けることができる。現状の制度は費用の全額を利用者が立て替えて支払い、その後、補助費を受け取る「償還払い方式」となっている。数十万円という多額の費用を工面するのは大変であり、近隣自治体では自己負担分だけを支払い、

受領委任払い方式



残りの金額は工事業者が市に請求を行う「受領委任払い方式」を採用している自治体が増えてきている。この方式の導入についての本市の考えを問う。

答弁 本市としては、住宅改修は訪問介護など他の介護サービスと異なり、ハード事業であることから「償還払い」が適当であるとしていたが、利用者の一時的な経済負担の軽減を図り、より利用しやすい仕組みとなることから、今後「受領委任払い制度」について、検討したいと考える。

一般質問 不燃ごみ7種9分別 収集移行による課題



会派に所属しない議員
鴨田 秋津

質問 お菓子の袋やレジ袋などのプラスチック包装類が資源ごみに分類されるようになり、可燃ごみの排出量が減少した。一方、資源ごみの量が増加しており、月1回の収集頻度では困っている家庭も多いと聞く。その点を改善する考えはあるか。市の見解を問う。

答弁 排出量の多いペットボトルやプラスチック包装類の収集回数の拡充など排出機会の確保は必要と認識している。4月からスタートした不燃ごみ7種9分別

収集の排出状況なども踏まえ検討する。

ごみ立ち番制度の未来

質問 ごみの立ち番については各自治会で実施されているが、人口減少、超高齢化、働き世帯の増加など、現状の制度を維持することが今後一層困難になると予想されるが、市の考えを問う。

答弁 高齢化などによる負担については、市民からもご意見をいただいている。審議会からの答申も踏まえ、管理ルールの整備や地域の実情に応じた立ち番の任意化などについて検討していく。



市役所など公共施設9カ所に
ごみ箱を設置

一般質問 昨年の豪雨・台風災害 復旧事業の促進を



日本共産党議員団
小西洋 一

質問 昨年の7月豪雨および台風24号災害復旧事業について進捗状況はどうか。また、高野川の排水ポンプ施設の計画を問う。

答弁 京都府管理河川や府道は、工期内の完成に向けて取り組んでいた。大浦地区の府道舞鶴野原港高浜線の野原・小橋間は本年5月末で復旧。林道三浜瀬崎線は10月末、市道多祿寺・大丹生線は、年内の開通を目指している。

高野川右岸側流域は、今年度から大手川の排

水ポンプ場の建設工事に着手し、左岸側については、実施設計を行う予定である。

抜本的な教職員の増員を

質問 学校での「働き方改革」の進捗状況を問う。また、教職員の抜本的な増員を府および国に強力に要望すべきだがどうか。

答弁 学校現場での働き方改革に向けては、さまざまな改善を行っている。教職員がゆとりを持って児童・生徒の指導に当たれるように教職員の増員は、これまでからも要望しており、引き続きお願いする。



令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

赤れんが3号棟に開設した。またオムロンソーシアルソリューションズやKDDIなどさまざまな分野で技術を有する企業や高等教育機関と連携し、斬新なアイデアや最新の情報などを取り込む。さらに、豊かな自然、歴史、文化と最先端の技術が共存する「便利

スマートなまち
便利な田舎暮らしとは



創政クラブ議員団
高橋 秀策

など新たな技術を導入した未来型のスマートなまち「便利な田舎暮らし」実現の取り組みに期待をしているが、具体的な内容を問う。

答弁 新たな交流と価値を創造する空間コワーキングスペースを赤れんが3号棟に開設した。またオムロンソーシアルソリューションズやKDDIなどさまざまな分野で技術を有する企業や高等教育機関と連携し、斬新なアイデアや最新の情報などを取り込む。さらに、豊かな自然、歴史、文化と最先端の技術が共存する「便利



赤れんが3号棟のコワーキングスペース

な田舎暮らし」が体感できるまちとして、全国に先駆けたモデル都市となるよう取り組む。

ひきこもり支援体制の
充実を



公明党議員団
小谷 繁雄

内閣府によるひきこもりの実態調査を受け、今後は、NPOや福祉関係者など幅広い機関との連携や協力を積極的に進め、早期の孤立に気付き、寄り添える支援が必要である。本市のひきこもり対策の現状について問う。

答弁 今後、関係部局との連携により、適切な支援の充実を図る。さらに、関係機関の情報共有を行う会議体の設置について、その体制に関する検討を進める。

支援相談センターの支援員が、家族や本人の状況について充分な聞き取りを行い、月一回の臨床心理士による巡回相談への誘導、脱ひき



舞鶴市役所にある生活支援相談センター

先進的事業である
引揚記念館を積極PR



新政クラブ議員団
眞 下降 史

質問 これまで着実に実施された引揚記念館事業を通じ、ウズベキスタンとの国際交流や、市内中学生と東京の中学生との交流事業など、さらなる発展につながる進歩を遂げている。今後の事業を期待するとともに、本年9月の「ICOM京都大会」では日本・世界の先進的事業としてしっかりPRすべきと考えるが市の見解は。

答弁 全国大会出場は、女性消防団員の入団促進や、消防団の活性化につながる絶好の機会と捉えPRする。

質問 昨年、生活困窮者自立支援法の改正では、自立支援事業などが努力義務とされた。生活困窮者のSOSを見逃さずに、行政の縦割りを超えた支援の展開が期待されている。ひきこもり対策の今後の取り組みを問う。



舞鶴・東京中学生交流

十分に伝わるよう、準備を進めていく。

質問 本年横浜市で開催される全国女性消防操法大会に、舞鶴市が京都府代表で参加されると聞いている。参加される女性消防団員の皆さんにとって有意義であり、また団員の勧誘につながるようにと考えるが見解を問う。

答弁 女性消防団員の入団促進や、消防団の活性化につながる絶好の機会と捉えPRする。

令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

一般質問

多々見市長の
倫理観を問う



会派に所属しない議員
田村 優樹

質問 広報まいづる

5月号での市長コラムに市民は怒りをあらわにしている。それは、少数意見を軽視、数の論理で市政は動くとして理解できない内容に対し、市長は、議会制民主主義の原点を説明したに過ぎず、何の問題もないとされ、市民を愚弄するかの発言に対するものである。また、このコラムが多くの市民や行政関係者の目に留まること予測できたにもかかわらず、市長側近の皆さんがなぜ事前に問題視



できなかつたのか。説明不足からきた誤解にしても、読み手の市民が理解に苦しみ混乱を招いているのは確かです。そのことへの謝罪は避けられず、自らの倫理を正すべきと考えerるがいに。

答弁 今般のコラム

を読まれ、一部の市民や報道機関からの指摘は拡大解釈されたもので、議会の一般論を述べたに過ぎず、少数意見は無視していない。事務方としては、意図が伝わっていないという指摘は、しっかり全市民に伝わるよう責務を果たしてまいりたい。

一般質問

市民の個人情報を守る
市の責任を問う



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問 自衛隊員募集

の協力として18歳826名、22歳874名の若者の氏名・生年月日・性別を紙媒体で提供した。住民基本台帳法に基づく閲覧方式から、変えたのはなぜか。

答弁 慎重に法令面

で検証し、自衛隊と締結している総合支援協定の趣旨を踏まえて行った。

質問 市の判断は住民基本台帳法より、この協定を優先された結果ではないか。

答弁 自衛隊

法や条例で、個人情報を適切に



取り扱い、総合支援協定のみを根拠にしていくものではない。

国保料の大幅引き下げを

質問 夫婦と子ども

2人の4人暮らしの家族で、家族年収400万円だと、国保の保険料は平成30年度年間37万1490円、協会けんぽでは17万4500円だ。2倍以上の差だ。知事会も求めている国保への1兆円の国費の投入で、大幅な引き下げを求めるべきだがいかがか。

答弁 公費の拡充は

不可欠なことから、市長会や協議会を通じて強く要望を行う。

一般質問

ごみ収集の現状・
課題・対応策を問う



創政クラブ議員団
川口 孝文

質問 環境保全に関

し、わが国をはじめ世界各国が重要課題として「ごみ削減」「分別リサイクル」に取り組んでいる。当市においても4月1日から全域で不燃ごみ7種9分別収集がスタートしたが順調に進んでいるのか。この影響なのか不明だが、可燃ごみの取り残しが増え、大変苦慮している自治会もあると聞いている。ごみ収集について現状はどうなのか、どのような課題があるのか、市の認識および対応を問う。

答弁 7種9分別収集については、円滑に移行できたものと考え

ている。しかし、一部で不適物の混入などもあるため、新たな分別区分がしっかりと定着するよう、あらゆる機会を活用して、さらなる周知に努める。不燃ごみが混入された可燃ごみの取り残しについては、自治会で対応できず市に相談いただいた場合は、市において2、3日後に収集し、中身の確認などを行い排出者本人が確認できた場合には、文書指導を行っている。



プラスチックごみは
リサイクルを

令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。

質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

成講座の開催や講座修了者に研修の機会を確保し、障害の特性に応じたコミュニケーション支援の人材確保に取り組む。



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマーク

障害者福祉の充実で、住みよい舞鶴を



公明党議員団 松田弘幸

質問 聴覚障害者の障害は、分かりづらく知らず知らずのうちに当事者を傷つけてしまう。社会参加のための認識や配慮をしながら要約筆記者や手話通訳者の人材確保が必要と考えるが、いかがか。

答弁 要約筆記に関する啓発、人材育成・確保に取り組む。また、手話通訳についても養成講座の開催や講座修了者に研修の機会を確保し、障害の特性に応じたコミュニケーション支援の人材確保に取り組む。

プラチマのリサイクルを

質問 市民がリサイクルの取り組みを進めるためには、分別しやすく、ごみを排出しやすい環境づくりが必要だ。また、プラスチック容器のシールに剥がしにくいものがある。リサイクルしやすい地域づくりに向けて小売店との連携が必要ではないか。

答弁 マイリサイクル店の制度に協力いただいている各小売店の自主的な取り組みを尊重しつつ、地域におけるごみの減量・リサイクルの推進役として、小売店と連携を図る。

田辺城址周辺の経済的観光事業展開は



新政クラブ議員団 仲井玲子

質問 来年度NHK大河ドラマ「麒麟が来る」で、田辺城築城の細川幽斎が大きく取り上げられるチャンスを生かした、舞鶴市における観光事業の展開が期待される。しっかりと経済効果を生み出す、田辺城址周辺の利活用について問う。

答弁 大河ドラマを見て本市へ来られる観光客への対応を図り、経済的な効果につながるよう、商店街・事業者・市民・地元金融機関・関係団体と連携し、取り組む。



田辺城城門

在住外国人の生活支援は

質問 1000人ほどの在住外国人のいる本市において国民性やマナーの違いがある中、交流により相互理解を重ね、外国人の方が安心して安全な生活を送るために、必要な情報を得ることができる取り組みについて問う。

答弁 NPO法人舞鶴国際交流協会などとの連携で、「にほんご教室」を開設し、また、日本語能力が不十分な外国籍市民が、舞鶴での生活を円滑に過ごせるよう、外国人用生活ガイドを作成し、それを活用いただいている。

港めぐり遊覧船待合所の整備を



会派に所属しない議員 西村正之

質問 舞鶴市は、現在赤れんがと海・港をシンボルイメージとする観光ブランド戦略が進められており、その重要な観光商品の一つとして、港めぐり遊覧船が平成20年から運行が開始され、以来、11年の年月が経過している。風光明媚な舞鶴湾や問近で見える護衛艦の迫力、海上自衛隊のOB有志(舞鶴水交会)による船内ガイドなど、その魅力は全国でもここではない味わえないものがあり、遊覧船利用者も



海軍ゆかりの港めぐり遊覧船

年々増加していると伺っている。今後、遊覧船の乗船客がより一層快適な遊覧船観光を楽しんでいただき、良い旅の思い出をお持ち帰りいただき、さらなる誘客を図るためには、専用の待合所やトイレの整備がぜひとも必要と考えるが市の見解を問う。

答弁 専用の待合所等の整備については、現在進めている「赤れんが周辺等まちづくり事業」の計画を具体化させる中で検討していきたいと考えている。

令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

新しい枠組みの
地域コミュニティとは

一般質問



創政クラブ議員団

肝付 隆治

質問 総合計画の前
期実行計画には、住んで
みたい住み続けたい
と思える地域をつくる
ための方策として、新
しい地域コミュニティ
を創造するとしている
が、どのような枠組み
のコミュニティを考
えているのか。

答弁 市民や自治会、
市民活動団体など多様
な主体が連携する大き
な枠組みによる地
域コミュニティを
創造し、地域の課
題を地域の力で解
決が図れるよう取
り組む。



行政の取り組みと支援は

質問 地域が新しい
枠組みによるコミュニ
ティをつくる場合には、
行政の支援としては後
方からの支援になると
思われるがどのような
体制で取り組むのか。

答弁 地域が主体と
なった地域課題への前
向きな取り組みに対し
て、課題解決に関わる
部署の職員が連携して
地域に入り、地域住民
の思いや悩みを聞き
「元気なまちづくり事
業費補助金」や京都府
等の各種支援事業など
を活用しながら地域に
寄り添うことで新しい
地域コミュニティの創
造に努める。

市民と共に進める
まちづくりを求める

一般質問



新政クラブ議員団

田畑 篤子

質問 今「つつじま
つり」が、消滅の危機
に立たされている。地
域行事の存続は、どの
地域にもある課題であ
る。役員の高齢化や地
域の自治力の低迷が運
営側の負担を重くして
いる。時代の変化の中
でそれでも地域行事に
携わってこられた市民
の皆さんの思いを、行
政は、しっかりと受け
止め、一緒に解決策を
考えていただきたい。
今を暮らす市民の長く
引き継いでこられた大
切な地域行事を守るの
も重要なまちづくりで
ある。具体的に「共に
進めるまちづくり」を
問う。



つつじ咲き誇る東舞鶴公園

答弁 市民に定着し
大変ありがたく思っ
ている。「舞鶴つつじま
つり協賛会」とその活
動を支援する地域の
方々のご尽力のたまも
のと敬意を表する次第
である。現地現場主義
を基本に、皆さんの声
をお聞きしご苦労され
ている課題等について
も、地域の皆さんの思
いに沿った市民と共に
進めるまちづくりに、
積極的に取り組んでい
きたい。

西地区の浸水対策を
10年から5年に短縮

一般質問

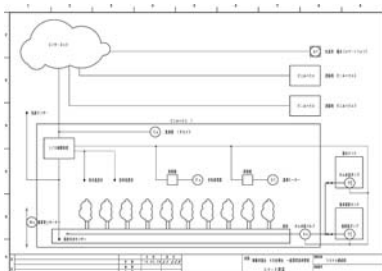


創政クラブ議員団

山本治兵衛

質問 国、政府が高
野川の治水対策の早期
完了の重要性を認識し、
府が予算を確保して早
期完成に向けて動き出
している。計画の早期
完成に大きな期待をし
ているが、今後の予定
と現状について問う。

答弁 京都府が実施
する高野川の整備事業
については今年度から
国土交通省におい
て「事業間連携河
川事業」のモデル
地区に採択され、
整備期間が10年か
ら5年に短縮され
た。市としても早
期完成に向けて取
り組む。



提案したスマート農業の例

ICTでスマートな農業を

質問 舞鶴市の農業
は高齢化や担い手不足、
耕作放棄など課題も多
い。そのような中、農
林水産省も提案するス
マート農業が注目され
ているが、今回、私が
作図したシステムを提
案する。これを参考に
課題解決に取り組んで
いただきたいがどうか。

答弁 提案いただい
たスマート農業の手法
については、具体的な
取り組みについて生産
者とともに調査研究を
進める中で手法の一つ
として参考にさせてい
ただき、新たな農業の
実現に向け取り組む。

令和元年6月13日、14日に本会議を開き、19人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は次のとおりです。
令和元年6月27日の最終本会議において提案された議案に対して討論をしました。

一般質問
討論

紙おむつを捨てる場所がない。今後観光客のリピーターを増やすためには、他にない舞鶴の魅力を発信する必要がありますかと思う。舞鶴市内の主要な観光施設



夜の赤れんがパーク

質問 舞鶴市は、経済人口10万人を目指し、交流人口増加に向けて取り組んでいる。高齢者の観光客も増加し、来鶴者が増える中、観光バス等での長時間移動時に尿失禁に悩む方もいる。近年大人用おむつが普及しているが、公共施設からごみ箱が消えているため、

紙おむつを捨てる場所がない。今後観光客のリピーターを増やすためには、他にない舞鶴の魅力を発信する必要がありますかと思う。舞鶴市内の主要な観光施設

一般質問
観光施設トイレの充実



新政クラブ議員団
鯛 慶一

に紙おむつ用のダストボックスを設置すべきと考えるが、市の考えを問う。
答弁 観光施設におけるダストボックスの設置について、かつては施設内に設置する所が多くあったが、近年では家庭ごみが持ち込まれるケースが後を絶たないなどマナーの問題により、全国的にダストボックスの設置はせず、ごみは持ち帰ってもらっている。しかし、大人用の紙おむつの普及が進む中で、今後来訪される観光客の状況やニーズをよく把握していく。

下がりする施設もあるが、最高1・2倍を超える施設もあり、市民負担増になる。昨年から各種団体への補助金1割削減、市の施設の使用料、手数料の値上げなど市民負担増が続いている。施設の使用料を思い切って値下げして使用率を高め、市

討論
市民への負担増をやめ、暮らしの応援へ
日本共産党議員団
小西洋 一

提案された15議案のうち2議案に反対、13議案には賛成する。
第8号議案「舞鶴市都市公園条例の一部を改正する条例制定について」は、赤れんが2・5号棟の施設利用料金を改定するもの。値

討論



民活動を活発にする発想こそ必要。新たな市民負担になる議案には反対する。
第14号議案「京都地方税機構規約の変更について」は、税機構そのものが生活を無視して預貯金や給与を差し押さえ、容赦なく国保料などの滞納を取り立てるための機構と考える。本来の税業務「相談する行政」から「税金を取り立てる行政」へと行政の仕事を変質させ、市民利益にならないので、この議案には賛成できない。

討論
浸水対策に大型排水ポンプ車導入を評価
創政クラブ議員団
尾 関 善 之

今日、地球温暖化などが一因とされる、局地的な集中豪雨の頻発や、台風の大規模化など各地で記録的な豪雨により甚大な被害が発生している。今回、大型排水ポンプ車(排水能力30立方メートル毎分)を導入することにより、内水氾濫による家屋などへの浸水被害の軽減や、道路冠水による通行規制の早期解除などの効果を期待する。



整備を行う文化公園体育館

本市は、2020年東京オリンピック・パラリンピックでウズベキスタン共和国のレスリング・柔道競技のホストタウンとなる。事前合宿を行う文化公園体育館は、昭和61年に建設してから30年以上経過しており、トイレ、更衣室・シャワー設備を整備することで、選手団に快適な練習環境を提供するとともに、施設の長寿命化と体育館利用者の利便性の向上、今後の本市のスポーツ交流人口の拡大に期待する。

交流人口の拡大に期待

令和元年6月27日の最終本会議において提案された議案に対して討論をしました。

討論

安全・安心を守る
補正予算に賛成

公明党議員団
杉島久敏



今定例会に上程された全議案に対し賛成の立場で討論する。
平成30年度一般会計補正予算の専決処分については、特別交付税で前年度に引き続き国に対する予算要望活動などにおいて、早期災害復旧を目指す本市の積極的な取り組み姿勢が認められたものと判断し、賛成する。
令和元年度一般会計補正予算については、再生可能エネルギー利用による環境に配慮した施設整備をはじめとし、京都府北部地域における周産期医療の充実に向け、安心して子どもを産み、育てられ

る地域医療環境の実現、さらには台風被害により荒廃した森林や溪流の治山施設整備事業、30立方メートル毎分の排水能力を有する排水ポンプ車1台を購入し、内水被害の軽減を図る事業などが展開されようとしている。また喫緊の課題である人口減少対策として移住・就業に関する事業

も組み込まれており、市民の安全・安心の暮らしに寄与するものとして評価し、賛成する。



30立方メートル毎分の排水能力を持つ排水ポンプ車

防災・減災対策の
取り組みを高く評価

新政クラブ議員団
野瀬貴則



今定例会に上程された全議案に対し賛成する。

浸水対策事業として、排水能力30立方メートル毎分の排水ポンプ車を購入することで、市民の財産を内水による家屋などへの浸水被害から守り、道路冠水による通行規制の早期解除が図られ、安心・安全なまちづくりを

目指すものであり期待する。緊急時電力確保設備整備事業では、南公民館に太陽光を利用した発電設備と蓄電池を整備する



排水ポンプ車

ことで、市内自主避難所全てに、当該設備の整備が完了し、市民が避難した際の安全を確保できることを評価する。

「選択と集中、分担と連携」推進事業では、子育て環境日本一を目指し、医療の中核を担う舞鶴医療センターへ「母体胎児集中管理・監視システム」の導入支援を行うことで、周産期サブセンターとしての機能のさらなる充実が図られ、市民が舞鶴で安心して出産・子育てができる環境が日々強化されており、高く評価する。

2020年東京五輪に
おける本市の役割

会派に属しない議員
鴨田秋津



今定例会に上程された全議案に賛成する。

第4号議案での施設整備事業は、東京五輪の参加国、ウズベキスタン共和国の、レスリング・柔道競技代表選手段の事前合宿地として使用する文化公園体育館設備を改修する費用であり、トップアスリートに快適な練習環境を提供するだけでなく、体育館を利用して市民の利便性向上を図るものであるため、これまでにない新たな財源確保も併せて評価する。今後も将来を見据えたスポーツ環境の改善に努められた

い。

地区計画制度の活用を

第9号議案は、室牛地区の地区計画が決定したことに伴い、同地区内の建築物の制限に関する条例の一部を改正するもので、一定の条件を満たせば、住居や店舗が建築可能になる。こうした市街化調整区域における地区計画制度の活用は、今後



昨年のウズベキスタンチームとの合同練習



令和元年6月27日の最終本会議において提案された議案に対して討論をしました。

本会議において付託された議案は、産業建設委員会3件、総務消防委員会5件、福祉健康委員会1件、市民文教委員会3件、予算決算委員会3件であり、それぞれの委員会で審査しました。

討論 常任委員会の審査報告

提出された15議案のうち14議案に賛成、1議案に反対する。
第15号議案の令和元年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)については、児童福祉施設の廃止による敷地の返還に伴い、損害賠償金として、時効分を除く3年間分の貸借料相当損害金および遅延損害金を土地所有者に支払うとしているが、損害賠償金等については、司法の判断を仰ぎ解決がなされるものと考ええる。他方、本案件に対し、賛否を表明するに当た

児童福祉施設の土地問題は

会派に属しない議員
西村正之



討論



除却工事が進む児童福祉施設

り、公平公正でなければならず、かかる観点から、本市側の説明だけ聞いて良しとするのではなく、土地所有者の意見等も十分聞き適正な判断のもと、表決することは、市民の皆さんから負託を受けた議員として当然とすべき態度であると考えらる。よって、この議案については、積年の土地問題が円満解決をみた上で、あらためて、予算計上することが妥当であると考え、ことから反対する。

常任委員会の審査報告

産業建設委員会の 主な審査内容

都市公園条例の 一部改正

赤れんがパーク内貸館施設の利用料金を改めるもの。

Q 平日の利用促進を図るには利用料金が高いのでは。

A 今回の利用料金の見直しは一定ルールに基づく全市的な取り組みによるもの。今後はこの料金を元に利用促進を図っていききたい。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員の資格取得に必要な研修

について、指定都市の長が実施するものを追加。今後、指定都市の長が行う研修を修了した者を放課後児童支援員として扱うことができるよう改めるもの。

研修の身元は？

A 京都府が主催する認定資格研修は、制度の内容、支援員の役割、子どもの発達などの基礎知識・子どもの生活や遊びの支援、安全対策などである。

福祉健康委員会の 主な審査内容

介護保険条例の 一部改正

今年10月の消費税率の引き上げに合わせ、「介護保険法施行令」が改正され、低所得者の保険料のさらなる軽減強化が図られたことから、本市の「介護保険条例」を改正し、平

成31年度および32年度保険料の減額賦課に係る保険料率を本年4月1日から改めるもの。

総務消防委員会の 主な審査内容

市税条例の 一部改正

本年10月の消費税率引き上げに当たり、個人市民税の住宅借入金等特別税額控除の適用期間の延長を行うほか、ふるさと納税制度に関する個人市民税の寄附金税額控除の対象となる寄附金の見直しを行うもの。

Q 住宅借入金等特別税額控除については、現時点でその適用を受けている場合も期間が延長されるのか。

A 本年10月1日から令和2年12月31日までの間に新たに10%の消費税率で住宅を購入した者が対象となる。

予算決算委員会の 主な審査内容

令和元年度 一般会計補正予算

「地域医療の充実」 共同研究事業

Q 医師確保につながるのか？

A 「周産期サブセンター」の機能が充実し、産婦人科医師にとって魅力的な医療環境となる。また、京都府立医科大学との連携が強化され、関連する診療科の医師の確保にもつながると考える。

地域の魅力発信等 向上事業

Q 導入する再生可能エネルギーの種類と能力は？

A 年間約9千〜1万3千キロワットアワーの発電が可能な太陽光発電施設の設置を予定しており、今回の補正予算により、その詳細設計を行う。

6月27日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。



全会一致で承認・可決した条例議案

- 専決処分の承認を求めることについて（市税条例の一部を改正する条例制定について）
- 専決処分の承認を求めることについて（介護保険条例の一部を改正する条例制定について）
- 市税条例等の一部を改正する条例制定について
- 火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	仲井玲子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	議決をした日
新政	新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無会派	無会派	無会派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	6月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	6月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	6月27日

☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

平成30年度 政務活動費の支出内容（概要）をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究等に資するための必要な経費の一部として、議員1人当たり年額26万円が議会会派等に対し交付されますが、30年度は改選のため12月5日から3月31日までの分として1人当たり81,290円が交付されました。

なお、差引不用額は舞鶴市に返還しました。

舞鶴市議会ホームページに政務活動費支出に係る領収書及び視察等報告書も掲載していますので、ご覧ください。



【各会派等政務活動費 収支報告書一覧表（平成30年12月5日～平成31年3月31日分）】

（単位：円）

会派名	収入		支出								支出合計	差引不用額
	政務活動費	自己負担分	調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	要請陳情活動費	資料作成・購入費	人件費	事務所費	事務費		
新政クラブ議員団	650,320	0	519,030	0	0	0	3,888	0	0	29,329	552,247	98,073
主な支出の内容：調査研究費（呉市、鳥栖市、筑前町、宇城市）、資料作成・購入費（新聞購読料）、事務費（通信料、コピー使用料など）												
創政クラブ議員団	569,030	0	383,690	0	0	0	3,888	0	0	41,400	428,978	140,052
主な支出の内容：調査研究費（東京都、横須賀市）、資料作成・購入費（新聞購読料）、事務費（消耗品購入、コピー使用料など）												
公明党議員団	325,160	0	205,130	0	0	0	0	0	0	22,577	227,707	97,453
主な支出の内容：調査研究費（小田原市、館山市、豊田市）、事務費（文具代、コピー使用料等）												
日本共産党議員団	325,160	19,360	0	0	303,243	0	12,372	0	0	28,905	344,520	0
主な支出の内容：広報・広聴費（広報紙印刷費、新聞折込料）、資料作成・購入費（新聞購読料）、事務費（通信料、コピー使用料など）												
会派に所属しない議員（鴨田秋津議員）	81,290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81,290
会派に所属しない議員（田村優樹議員）	81,290	0	65,888	0	0	0	2,400	0	0	2,974	71,262	10,028
主な支出の内容：研修・会議費（TKP横浜ビジネスセンター）、資料作成・購入費（書籍購入費）、事務費（NHK受信料、コピー使用料）												
会派に所属しない議員（西村正之議員）	81,290	0	0	0	0	0	0	0	0	4,050	4,050	77,240
主な支出の内容：事務費（コピー使用料）												

議案の採決結果

(令和元年6月定例会) 会期:6月3日~6月27日

全会一致で承認・可決した予算議案

- 専決処分の承認を求めることについて(平成30年度一般会計補正予算(第9号))
- 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

全会一致で可決したその他の議案

- 工事請負契約の変更について(次期最終処分場整備工事)
- 市道路線の認定について
- 人権擁護委員候補者の推薦について



賛否が分かれた議案

議案名		議員名簿等(会派内は五十音順)						議決結果	今	上	鯛
		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	西		野	慶	
								新	新	新	
								政	政	政	
市長提出議案	都市公園条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	
	京都地方税機構規約の変更について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	
	令和元年度一般会計補正予算(第2号)	26	25	24	1	0	可	○	○	○	

【会派】

新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、無会派…会派に所属しない議員

平成30年度 議長交際費の支出内容をお知らせします。

詳細は舞鶴市議会のホームページに掲載していますのでご覧ください。



単位(上段:件、下段:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	6	6	2	1	3	5	4	1	6	2	6	48
金額	51,000	39,000	30,000	15,000	7,000	20,000	25,700	19,000	10,800	36,450	27,648	43,000	324,598
会費	4 30,000	3 13,000	3 16,000	0 0	0 0	2 16,000	2 15,000	3 14,000	0 0	4 22,500	0 0	3 18,000	24 144,500
祝儀	0 0	1 5,000	2 10,000	2 15,000	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 25,000	8 55,000
弔慰	0 0	0 0	0 0	0 0	1 7,000	0 0	1 5,000	1 5,000	1 10,800	1 10,000	2 27,648	0 0	7 65,448
その他	2 21,000	2 21,000	1 4,000	0 0	0 0	1 4,000	2 5,700	0 0	0 0	1 3,950	0 0	0 0	9 59,650

議会活性化特別委員会と4つの常任委員会では、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しました。視察の概要は次のとおりです。

議会活性化特別委員会と常任委員会の視察報告

議会活性化特別委員会の視察報告

(平成31年4月25日(木)・26(金))

議会活性化特別委員会は、議会活動のさらなる活性化に向けて、他市の取り組みを調査視察しましたので、その概要を報告します。

- 視察先 ①兵庫県西脇市
②香川県三豊市
- 視察項目
議会の活性化について

少人数単位での市民との意見交換会

議会活性化の取り組みについて、特に本年から舞鶴市議会が取り組もうとしている少人数グループで行うワークショップ形式の意見交換会を実施し、成果を上げていく西脇市と三豊市への視察を行った。西脇市では、平成22年度から市内80ある自治会を2年間で全て回る「議会と語ろう会」を実施。対面式の議会報告会から、3人の議員が1会場を担当し、議会活動の報告と膝を交えての意見交換会に

変えたことにより、参加者から「議員と有意義な話ができてよかった」など多くの肯定的な意見を得ている。三豊市でも、市民の声を直接肌で感じられる機会を増やすため、議会報告会の開催場を増やすとともに、参加者が意見を出しやすいよう、1会場を少人数の議員で担当して開催することに変更した。そこで出た意見は、関連する常任委員会で精査した上で、広聴会議および議会運営委員会等で検討するなど、きめ細かな取り組みを実施している。

舞鶴市議会の4つの常任委員会は、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しましたので、その概要を報告します。

常任委員会の視察報告

総務消防委員会 (令和元年5月8日(水)~10日(金))

● 視察先および視察項目

- ①大阪府吹田市
自主防災について
- ②香川県丸亀市
自主防災について
- ③山口県長門市
官民連携によるまちづくりについて

産業建設委員会 (令和元年5月8日(水)~10日(金))

● 視察先および視察項目

- ①兵庫県加東市
防災・減災の取り組みについて
- ②山口県山口市
ICT等を活用したスマート農業の取り組みについて
- ③岡山県倉敷市
観光振興の取り組みについて

福祉健康委員会 (令和元年5月13日(月)~15日(水))

● 視察先および視察項目

- ①愛知県一宮市
障害者支援施策について
- ②三重県松阪市
健康に係る増進及び予防対策について
- ③静岡県藤枝市
健康に係る増進及び予防対策について

市民文教委員会 (令和元年5月14日(火)~16日(木))

● 視察先および視察項目

- ①東京都町田市
町田市の英語教育について
放課後こども教室「まちとも」について
- ②東京都立川市
食品ロスの削減の取り組みについて
- ③岐阜県恵那市
地域自治区について

総務消防委員会

長門市の地域活性化の取り組み

長門市では観光業が大きな産業となっており、観光まちづくりの推進施策が重要課題となっている。市内最大の温泉地である長門湯元温泉の宿泊者数がピーク時の半分程度に減少し、温泉街全体の活力も失われつつあった。そこで、官民連携による再生を目指し、コンサルとして星野リゾートの参加を得て「長門湯元温泉観光まちづくり計画」を作成した。また、地元旅館がリスクを負ってでも再投資の決断ができるよう具体的な目標として、人気温泉地全国10位以内、宿泊者数3万人、200億円の経済効果などの目標を設定した。これに対し、星野リゾートが実現可能と判断し、新規ホテル



議会活性化特別委員会と4つの常任委員会では、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しました。視察の概要は次のとおりです。

議会活性化特別委員会と常任委員会の視察報告

の建設を決めたことは大きな支えとなつている。本計画は、温泉街の特定地域の再生計画であるが、市全体の活性化につなげていく必要があり、舞鶴市の「赤れんが周辺等まちづくり事業」の市街地におけるエリアマネジメントの参考になるものと考ええる。



長門市職員から説明を受ける

産業建設委員会

防災減災の取組み、スマート農業ほかを視察

加東市では、防災減災の取組みの中で、内水対策に係る排水ポン

プ場の事業について視察した。本市の高野川、伊佐津川のように豪雨と高潮が重なる内水浸水被害にも、また、由良川流域の各輪中堤内の内水対策にも低水位での起動が可能な全速全水位型横軸水中ポンプが有効であることを現場で体験した。



加東市安取雨水ポンプ場を視察

山口市では、(株)ベリローでICTを活用したスマート農業について視察した。導入している技術は大規模なコンピュータ制御のものではなく、環境制御システムと業務改善プラットフォーム

のみで、クラウド上で管理し事業者が情報共有し栽培管理している。倉敷市では、観光振興について視察した。倉敷市ならではの魅力を活かした着地型旅行商品を開発し、観光主体を育てていく取り組みをしている。中でもM212の環境整備や、二次交通の充実、居心地の良い施設づくりなど回遊性を高める観光インフラの整備に力を入れている。

福祉健康委員会

健康に係る増進および予防対策

一宮市では障害者支援施策について、相談支援体制や、自立支援協議会、手話通訳サービスなどを視察した。自立支援協議会では、困難な事例について一宮市障害者基幹相談支援センターが、市役所

福祉課と後方支援を行うとともに運営会議・専門部会・本会の順で政策の提言を行い、地域へフィードバックがなされていた。松阪市では、第2次松阪市健康づくり計画に基づく取り組みをされている。特に子育て支援に関し先進的で、松阪版ネウボラの取り組みをされていた。笑顔で子育てができるように関係各課が連携し、妊娠中から子育て期まで途切れない見守りや支援がなされていた。



松阪市健康センターの健康チェックコーナー

市民文教委員会

小学1年生からの英語教育の実践

町田市では、グローバル化進展の中で、2017年度から「えいごのまちだ」事業を実施。小学校1年生から英語授業を開始し、単にカリキュラムを課すのではなく、放課後に絵本やゲームを通じて楽しみながら慣れ親しむといった手法で一貫した英語教育を受けられる環境整備を進めている。

食品ロスの削減に関する取り組み

全国で食品ロスによるごみは年間646万トンに及び、東京都立川市では将来のごみ処理場の確保などの背景から、啓発事業に積極的に取り組んでいる。「食べきり協力店」いわゆるご飯やおかずの量を少なく提供する「小盛りメニューの導入」や「持ち帰り対応」など市内飲食店と共同で実施することで市民への理解度が増進し、成果を上げている。



立川市の食品ロスへの取り組みについて聞く

議会アドバイザーの紹介、市民と議会のわがまちトークを開催、9月定例会予定



左：窪田アドバイザー 右：上羽議長



意見交換会作業部会と協議

舞鶴市議会では、より良い事業評価・市民参画の在り方や手法などを検討し、議会機能の向上を図ることを目的に、学識経験者を「舞鶴市議会アドバイザー」として委嘱し、そのアドバイスをいただきながら各種の議論を進めることとしました。

「議会アドバイザー」を設置しました

「アドバイザー」としての業務を担っていただいています。

《令和元年度に指導・助言をいただく主なテーマ》

- ・市民と議会との意見交換の場の在り方
- ・議会基本条例の自己評価の手法
- ・政策・事業の評価の手法

市民と議会の

当日の様子は
次号に
掲載予定!

8月3日(土)、4日(日)に開催

「市民と議会のわがまちトーク」の特徴は、議員1人を含む6人程度の少人数のグループに分かれることにより、議員を含めて気軽にお話していただくことができます。

出された意見をもとに後日、議会で議論や調査などを行い、市政への反映に向けて検討していきます。



市議会主催の意見交換会「市民と議会のわがまちトーク」を8月3日(商工観光センター)、4日(西駅交流センター)に開催します。

参加予定の市民の皆さんは、公募を含む延べ125人を予定。4つのテーマで、議員と一緒に考えていきます。

4つの
テーマ

- 3日(土) 午前 ①「障害者支援について」
- 3日(土) 午後 ②「東西市街地の浸水対策」
- 4日(日) 午前 ③「自主防災力の向上について」
- 4日(日) 午後 ④「これからの自治会活動とは？」

わがまちトーク



舞鶴市議会

検索

本会議の映像を、スマートフォン、タブレット端末やPCなどでご覧いただくために、動画共有サービスYouTubeでインターネット配信を行っています。

詳しくは、舞鶴市議会ホームページで。



本会議の映像配信

9月定例会予定

※予定は変更することがあります。

9月

- 3日(火) 本会議(開会)
- 9日(月) 請願受理締切
- 13日(金) 本会議(代表質問、一般質問)
- 17日(火) 本会議(一般質問)
- 18日(水) 本会議(一般質問、質疑)
- 20日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 25日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 26日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会

10月

- 1日(火) 予算決算委員会
- 7日(月) 本会議(閉会)